

〔 横浜能楽堂 〕  
平成 29 年度業務報告及び収支決算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

I 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 1,770.81㎡ 延床面積 5,695.93㎡
開館日	平成 8 年 6 月 28 日

II 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日まで

III 指定管理に係る業務方針

1 基本的な方針の総括

【横浜能楽堂が目指す姿】

開館以来の理念である『敷居の低い能楽堂』を継承しながら、市民が文化・芸術に触れ、豊かな創造性を育むことのできる文化芸術活動の基盤整備を推進に向けて取り組みました。

指定管理第 2 期と同様、質の高い事業を実施し、古典芸能の専門施設としてのブランドを確立し、また「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」および文化プログラムを見据えた取り組みを推進しました。これらの文化事業に携わる専門人材の育成を行い、長期的な事業のクオリティを担保しました。

第 2 期指定管理期間に課題として上げられた施設の利用率向上に向け、施設広報・営業の強

化を行いました。また安心・安全・快適な場として施設を提供するために、経年劣化の進む設備の長寿命化に向け取り組みました。これらの課題の実現のために限られた経営資源を適切に配分するとともに、外部資金を積極的に活用し経営の安定をはかりました。

#### 【横浜能楽堂が果たす役割】

古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の一翼を担い、「古典芸能の総合的な発信基地」としての役割を果たしました。

質の高い普及公演・講座・ワークショップの開催や、専門施設ならではの高い芸術性・学術性を基盤とした企画公演や発信性の高い国際交流事業の実施を通じて、能楽に関心のない層にも訴えかけて楽振興につなげるほか、次代を担う子どもたちを対象とする事業を強化していくことにより古典芸能愛好者の裾野を広げました。

広報担当を置いてユニークベニューへの取組み、インバウンド対応、近隣区域への広報展開を進め、横浜市の都市イメージ向上や観光施策、まちの魅力形成に寄与しました。

文化財として価値のある能舞台を守り、事業や貸館、インバウンド等に有効に活用するためにも、施設の保守管理や修繕を迅速かつ適切に実施しました。

## 2 29年度の業務の方針及び達成目標の総括

#### 【全体業務について】

財団として策定した「横浜市芸術文化振興財団 中期経営計画 2015-2017」の4つの重点取組に沿って作成した第3期指定管理提案書に基づき、提案内容の達成に向けて取組みを進めました。

指定管理第3期の初年度は、開館以来の目標である「敷居の低い能楽堂」への継続的な活動とともに、第3期提案内容の達成に向けスタートアップをはかりました。とくに課題として取り上げられていた施設利用率の向上および貸館営業の取組みについては、まずは施設の周知のための「種をまく」といういくつかの取組みをスタートさせています。また22年目を迎える施設として避けられない経年劣化による不調の発生頻度が上がっており、安全に関する事案に対しては最優先で対応を進めました。

#### ①事業の総括

発信性の高い企画公演「能の花 能を彩る花（全5回）」を中心に、鑑賞者の裾野を広げる普及公演・講座の開催および大きな注目を集めたダンスと能楽囃子とのコラボレーション「SAYUSA-左右左-」や、「川本喜八郎の世界」で人形劇・人形アニメーション・能を見せる公演を行うなど、積極的かつユニークな事業展開を行いました。企画事業全般で、券売率、来場者数ともに目標を上回った公演も多く、他ジャンルとの連携や連携展示やギャラリートークなど、新しいファン層の開拓にも取り組みました。また、定着している「横浜狂言堂」や「バリアフリー能」を中心に普及に努め、障がい者との意見交換会など、今後の改善につなげる取組みも行いました。

#### ②運営の総括

能楽の専門施設として伝統と格式を守りつつ施設の利用促進に取り組みました。貸館営業の強化を人員体制も含めて取り組み、利用促進の減免制度やユニークベニューについて調査検討を行いました。これらは平成30年度に具体化してゆきます。また近隣マンション・モデルルームへのち

らし配布、地域イベントと連携した施設見学会や施設周知を目的とした「和のワークショップ」シリーズを新たに開催するなど、開かれた能楽堂を目指す一歩としました。また、Wi-Fi を活用したクレジットカード等決済サービスの開始、来館見学者へのタブレットガイド提供など新たなサービスの提供にも取り組んでいます。

③管理の総括

全ての来館者に「安心」と「安全」を提供できるよう、設備の予防保全に努めました。横浜市による本舞台舞台モニター改修工事が行われ、本舞台利用時の利便性が大幅に高まりました。また防火防煙シャッターの安全工事の実施、火災報知器の不具合を抱えながらの施設管理について、横浜市と相談・協議の上、対応を進めました。

IV 業務の取組と達成指標

1 施設管理

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①文化財（能舞台）の適切な保護</p> <p>②中長期的な視点による総合的な施設（建築物）、建築設備、舞台設備、備品等の保守管理の遂行</p> <p>③清掃、廃棄物処理及び環境への配慮等、植栽管理業務等の環境維持管理業務の実施</p> <p>④駐車場管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日々の手入れと点検を実施し、必要に応じて専門業者による管理・メンテナンスを行います。</p> <p>■職員および施設管理委託者による毎日の巡回と目視での点検により不具合の早期発見に努めます</p> <p>■建物設備管理に起因する過失事故0件</p> <p>□アンケート 快適評価4.0</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■横浜市有形文化財の認定を受けた貴重な文化財である能舞台を業務に基準に記されているとおり適切に管理しました。</p> <p>■定期的な巡回のほか、利用後の状態確認を職員が行い、不具合発見時は報告書を作成しています。</p> <p>■0件 業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p>□快適評価4.51 来場者全員にアンケート用紙を配布し、協力を求めています。項目は①性別、②年齢、③居住地、④公演情報入手、⑤鑑賞動機、⑥能・狂言の鑑賞回数、⑦今回の公演について、⑧スタッフ対応・サービス、⑨施設の快適性、⑩今</p>

	<p>■環境維持管理に起因する過失事故 0 件</p> <p>□駐車場の保守点検年 2 回以上</p> <p>■駐車場および車両に起因する過失事故 0 件</p>	<p>後取り組みたい文化活動、①意見・希望、の11項目です。</p> <p>主なご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内は清潔感があり落ち着いたが、トイレはシャワー付、乾燥機付にしてほしい。すべて洋式にすべき。(多数)</li> <li>・座席は座りやすいが、席にスロープがなく見づらい。前に人が座ると見えないので左右に互い違いに改修してほしい。(多数)</li> <li>・スタッフの案内がとても上品な対応でありがたかった。</li> <li>・駅からシャトルバスがあると良い。坂道が辛い。</li> <li>・場内のじゅうたんが歩きやすくて良い。</li> <li>・ロビーが暗くてチラシが見づらい。</li> <li>・能楽堂の建物が素敵。木の香りがとても癒される。</li> </ul> <p>■ 0 件</p> <p>業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。施設利用後は職員及び清掃員で点検を行い、汚れを発見した場合は迅速に対処し報告書で情報を共有しました。</p> <p>□9/1、3/29実施</p> <p>業務の基準に基づき適切に管理しました。</p> <p>■ 0 件</p> <p>お車で来館されるお客様がスムーズかつ安全に利用できるよう警備員と協力して対応しました。また、エントランス前は一方通行となっているため、タクシー利用が多い公演時は警備員等による安全確保に努めました。</p>
--	---	---

	<p>□備品（収蔵庫）管理 害虫 駆除年2回以上</p> <p>□植栽管理 年2回以上</p>	<p>□9/7、12/4実施 貴重な装束や能面等の収蔵品をカビや害虫から守るため、業務の基準に基づき温湿度及び塵芥管理と害虫駆除を行いました。</p> <p>□7月、10月、11月、1月実施 除草・剪定・刈込業務及び薬剤散布実施にあたっては、近隣住民と十分な調整のもと行い、市民の憩いの場である掃部山公園をはじめ周辺環境と調和するたたくまいを保つよう管理を行いました。</p>
--	---	--

(2) 小破修繕への取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日常点検を行い問題箇所迅速に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日常点検と問題箇所対応を迅速に行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 日常の管理・毎月の点検における不具合・不調箇所を発見し、早期の小破修繕等の対応</p> <p>② 利用者の安全に関わる事案への最優先対応</p> <p>③ 不具合箇所等の市への報告による情報共有の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 日常の巡回点検、毎月実施する定期点検の中で不具合・不調箇所の早期に発見に努め、部品交換や小破修繕を行います。</p> <p>■ 問題箇所については施設管理チームからアドバイスも参考にし、対応します。</p> <p>■ 不調箇所はモニタリングを通じて市と情報共有を行います。</p> <p>■ 利用者の安全に関わる事案については、随時市に報告し対応を協議します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 経年劣化による不具合は避けられませんが、日常の管理、毎月の点検で、早期発見と適切な対応に努めました。</p> <p>■ 不具合については報告書を作成し、施設管理チームと情報を共有し技術的なアドバイスや他施設の類似事例に基づくアドバイス等を受けました。</p> <p>■ モニタリング時に修繕一覧を作成し提出しました。</p> <p>■ 利用者に影響がでるような事案については、報告書を市にメールで送付し情報共有と対応協議を行いました。</p>

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>
---

<p>[取組内容]</p> <p>①各種事故等対応マニュアルの運用、整備</p> <p>②事故防止策、緊急時(防犯)対応</p> <p>③感染症対策等衛生管理の方針の策定</p> <p>④緊急時の連絡体制、防災に対する取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各種マニュアルを整備し備え置きします。</p> <p>■職員、補助職員、委託業者(清掃員)による施設内巡回等による速やかな対応を行います。</p> <p>■緊急連絡網を作成し連絡体制を構築します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■危機管理マニュアルを作成し館内で共有しました。</p> <p>■巡回のほか監視カメラ、機器モニタリングにより危険や不審者、要救護者を早期に発見できるよう注意を行いました。また、利用状況に合わせたこまめな施設管理などにより事故防止と防犯に努めました。</p> <p>■館内の緊急連絡網を作成し職員全員が携帯、夜間、休日問わず速やかに報告・連絡・相談できる体制を整えました。本連絡網は市にも提出、情報を共有しました。</p>
---	--	---

(4) 防災に対する取組

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、適切に対応します</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各危機管理マニュアルの整備及びそれに基づく訓練の実施</p> <p>②消防訓練(年2回実施)</p> <p>③指定管理者本部からの情報提供</p> <p>④外国人来場者への案内</p> <p>⑤延命講習の受講</p> <p>⑥汚物処理研修</p> <p>⑦救急時の医療機関への搬送</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□消防訓練(避難誘導訓練を含む) 年2回実施</p> <p>□消防設備の取扱研修 年2回実施</p> <p>■外国人来館者・障害者の避難誘導體制を整えます。</p> <p>□普通救命講習1を全職員が受講済とします。</p> <p>□ノロウイルス対応研修 年2回</p> <p>■救急時は救急医療機関を紹介、搬送の手配をします。また、事務室及びチケットブースで</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□7/18、1/26実施 危機管理マニュアルに基づいた訓練を行いました。</p> <p>□7/18、1/26実施 消防訓練実施時に合わせて実施しました。</p> <p>■車いすでのお客様など障がい者を想定した誘導訓練を行いました。外国人への対応は英語による口頭での案内が想定されます。</p> <p>□全職員が受講済 消防訓練実施時にAED研修を全職員が受講したほか、11月の普通救命講習を1名が受講しました。</p> <p>□7/16 AED・救急救命研修 1/26 ノロウイルス対応研修</p> <p>■救急医療機関紹介、搬送手配実績はありませんでした。西区及び中区の急患診療所、横浜市救急相</p>

	近隣の診療所や救急相談センターの情報等を共有します。	談センターの情報と共有しました。
--	----------------------------	------------------

## 2 施設運営

### (1) 能楽等の公演、稽古、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[目指す成果] 第3期指定管理提案における施設利用率及び利用料金収入の達成に取り組みます</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜観光コンベンションビューローとの連携による企業向け見学会実施など新たな取り組みによる施設利用周知に努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①適切な施設の提供、運用 ②貸館の利用率が高まる工夫による施設の利用促進 ③新規の利用者を増やすための工夫 ④指定期間における利用料金収入、利用率の考え方、利用率の達成 ⑤貸館、舞台の適切な運営体制の整備 ⑥要望・苦情への対応、職員における共有</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■開館時間：午前9時～午後10時 受付・チケット販売：午前9時～午後8時 貸館受付：午前9時～午後10時</p> <p>■利用料金の設定：現行の利用料金体系を継続 教育機関の貸館利用については半額減免制度を新設します。</p> <p>■受付方法：横浜市能楽堂条例施行規則に則り、能狂言とそれ以外の古典芸能で受付開始日を変えて受付します。</p> <p>■支払方法：現金、振込、郵便局払込で収受します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■利用者から開館時間前後の利用要望はなく、指標どおりに施設を提供しました。チケット発売日にスタッフを増員するなど適切に対応しました。受付開始日のシフトを工夫するなど、年間を通じてスムーズな運営に努めました。</p> <p>■横浜市能楽堂条例及び同施行規則に規定される横浜市内の教育機関のほか、市外・県内外の教育機関の利用を促し、広く次世代にも能楽の普及を図るため、学校教育法に規定する学校等が主催する能、狂言その他古典芸能の事業の実施のため利用する場合は、半額減免を適用することとしました。達成指標のとおり実施し、教育機関の半額減免制度による学校鑑賞会の利用申込受付が1件ありました。</p> <p>■本舞台について、能・狂言に関する利用受付開始は24か月前の第2日曜日、それ以外は12か月前の第2日曜日とし、能・狂言の優先利用を促しました。</p> <p>■達成指標のとおり実施したほか、3/1から新たにクレジットカード、</p>

	<p>■古典芸能鑑賞会、施設見学会等について学校や旅行代理店にプランを提案します。</p> <p>□平成 29 年度 アプローチ件数 15 件、商談件数 3 件</p> <p>■利用案内の DM を送付し貸館の周知を行います。</p> <p>□平成 29 年度 利用案内 DM 送付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去施設利用者 50 件</li> <li>・ 近隣住民 2 回/年</li> </ul>	<p>電子マネー決済を導入しました。</p> <p>□MICE 振興課へ能楽鑑賞プラン提案 1 件提案しました。また、新たな取組みとして企業向け見学会を 2 回実施しました。三菱地所レジデンスクラブとは具体的な連携も実現し、会員向け「匂い香ワークショップ」を 1 月に開催できました。また、和の楽しみシリーズとして施設見学会付ワークショップ（第二舞台利用）を実施しました。匂い香ワークショップ実績①20 人②20 人、和綴じ本ワークショップ実績①18 人②17 人、一閑張りワークショップ実績①17 人②22 人</p> <p>□アプローチ件数 15 件、商談件数 1 件</p> <p>企業向け見学会を 12 月と 2 月に開催、計 30 名の参加がありました。その他、施設の下見や電話での問い合わせ等、対応を行いました。また、独立行政法人理化学研究所のアフターコンベンションとしてパーティー利用の引き合いがありました。</p> <p>■過去利用者、近隣、友の会、能楽サークルへのアプローチのほか、月間スケジュール「橋がかり」にワークショップや見学会等利用案内を掲載し、広く周知に努めました。</p> <p>□平成 29 年度 利用案内 DM 送付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50 件</li> <li>10 月会報に封入しました。</li> <li>・ 2 回/年</li> </ul> <p>ザ・パークハウス伊勢町レジデンスギャラリー（9 月）、ザ・タワー横浜北仲モデルルーム（2 月）で利用案内を配布しました。</p>
--	--	---

<p>・友の会会員（直近・過去を含む） 1000 件</p> <p>・大学能楽サークル 5 件</p> <p>■初めて割（25 歳以下の利用者）と応援割（ワークショップ修了者）の仕組みを検討します。</p> <p>□平成 29 年度 利用料金収入 16,100 千円</p> <p>□平成 29 年度 施設目標利用率</p> <p>・本舞台（日）40%（平成 32 年度 50%）</p> <p>・第二舞台 61%</p>	<p>・749 件</p> <p>会員数が目標に達していなかったため、送付件数が目標を下回りましたが、会報に案内を封入するほか、月間スケジュール「橋かがり」に案内を掲載し広く周知を行いました。</p> <p>・取組中</p> <p>H30.4 に 20 件発送済み</p> <p>■現状の利用状況を鑑み検討した結果、平日午前の利用促進を促すもの、若い世代の利用を促すもの、ワークショップ受講者からの継続利用を促すものの3種のプランに取り組むことになりました。H30.5 から「初めての朝割」「初めてのU25割」「応援割」として開始します。</p> <p>□14,395 千円</p> <p>第2期指定管理期間のうち最も高かった H25 年度（16,099 千円）を基準とする高い目標値であったこと、自主事業準備（「こども狂言ワークショップ」「SAYUSA」）で利用する回数が多く、収入をあげられなかったことが主な要因です。施設貸出利用案内の周知を工夫しましたが、目標に達しませんでした。</p> <p>□平成 29 年度 施設利用率実績</p> <p>・本舞台（日）50%</p> <p>8 月 86%と 2 月 80%が全体の利用率を押し上げました。8 月は通常の主催事業のほか「こども狂言ワークショップ」、「SAYUSA」の準備があったこと、2 月は「初めての能楽教室」発表会に向けた練習が行われたことが主な要因となっています。</p> <p>・第二舞台 57%</p> <p>レジデンス事業等の利用予定枠を実際は利用せず利用率がさがりました。主催事業のワークショップに</p>
---	---

	<p>・研修室1・2 31%</p> <p>・研修室3・4 47%</p> <p>※平成29年度より研修室は2室一体で利用率を計算します</p> <p>■開館時の運営体制：1階補助職員3名以上、事務室職員2名以上</p> <p>■本舞台利用時の運営体制：舞台技術者による対応</p> <p>■本舞台における公演・発表会の開催時の運営体制：補助職員2名～4名増員</p> <p>■事務室の職員全員が貸館に対応できるよう、マニュアルを整備します。</p> <p>■貸館の手引きを改正し、利用者に施設利用に関する情報をわかりやすく伝えます。</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』（公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援）を実施します。</p> <p>■毎月発行の催し物案内広報物「橋がかり」へ本舞台・第二舞台の公演・発表会等の情報を掲載し、貸館催事の広報に協力します。</p> <p>■公演ごとに実施するアンケートを分析し、お客様の要</p>	<p>より利用率アップを図りましたが、目標に若干届きませんでした。</p> <p>・研修室1・2 34%</p> <p>・研修室3・4 46%</p> <p>概ね目標通りです。</p> <p>■開館時はエントランス及びチケットブースのある1階は補助職員を常時3名、事務室職員は常時2名以上になるようシフトを調整し貸館に対応しています。</p> <p>■本舞台利用時は常時1名を配置し対応しました。</p> <p>■達成指標どおり実施 本舞台で公演、発表会を開催する際は、緊急時の避難誘導など安全を確保するため補助職員を適宜増員しました。</p> <p>■マニュアルを全職員で共有しました。</p> <p>■達成指標のとおり実施 利用者との打合せにきめ細かく対応し、必要な情報は館内で共有しました。</p> <p>■貸館「はごろも」公演（能とダンス、ファッションショー）のサポート（9月）、能楽体験教員セミナー開催の広報協力（12月）、立花流創流60周年（日本舞踊）リハーサルサポート（1月）、立花流創流60周年（日本舞踊）本番サポート（2月）</p> <p>■毎月の発行物に本舞台、第二舞台の公演・発表会について内容・問合せ先を掲載することで貸館催事の広報に協力しました。</p> <p>■回収したアンケートは迅速に集計し、館内で共有・対応しました。</p>
--	--	---

	<p>望・苦情を把握し対応します。</p> <p>■必要に応じ財団事務局、横浜市と情報共有します。</p> <p>■クレームについてレポートを作成し職員間で共有します。</p>	<p>主なご意見はモニタリング時にも市にも報告しています。</p> <p>■報告の必要がある場合は、対応策も含め事務局・横浜市に報告し対応しました。</p> <p>■事象・原因・改善策をまとめたレポートを作成し、全職員で共有しました。</p>
--	--	---

(2) 利用促進及びサービスの向上

<p>[目指す成果]</p> <p>新たなプロモーションへの取り組みをスタートさせ、お客様の満足度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>施設見学会付きワークショップを実施し、新たな来場者増につとめました。また、Wi-Fi 導入やショップオリジナルグッズの拡充などにも取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各貸出施設の利用促進に対する取組み及びプロモーション</p> <p>②お客様からの意見箱の設置及び対応によるサービスの向上</p> <p>③物販サービスの実施</p> <p>④来館者及び外国人観光客に向けたWi-Fi用アクセスポイントの設置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各室について稽古利用ができることをSNSやちらしで周知します。</p> <p>□利用案内 DM 送付件数(再掲)</p> <p>・平成29年度 過去施設利用者 50件</p> <p>・近隣住民 2回/年</p> <p>・友の会会員(直近・過去含む) 1000件</p> <p>・大学能楽サークル 5件</p> <p>■ツイッターやWEBページを活用し貸館情報、利用紹介や案内を告知します</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■館内掲示のほか、月間行事予定「橋がかり」9月第2舞台、10月研修室の利用案内を掲載しました。</p> <p>□利用案内 DM 送付件数(再掲)</p> <p>・50件</p> <p>10月会報に封入しました。</p> <p>・2回/年</p> <p>ザ・パークハウス伊勢町レジデンスギャラリー(9月)、ザ・タワー横浜北仲モデルルーム(2月)で利用案内を配布しました。</p> <p>・749件</p> <p>会員数が目標に達していなかったため、送付件数が目標を下回りましたが、会報に案内を封入するほか、月間スケジュール「橋がかり」に案内を掲載し広く周知を行いました。</p> <p>・取組中 H30.4に20件発送済み</p> <p>■3/30にスマホ対応サイト化を実施しました。</p>

	<p>■気軽に情報にアクセスできるよう、WEBページのスマホサイト化を検討します</p> <p>■本舞台の1時間単位での貸出のPR</p> <p>■WEB ページでの施設空き状況の情報提供の検討</p> <p>■撮影利用、アフターコンベンション等の利用希望への積極的な対応</p> <p>■公演利用者への付加サービスの提供の具体内容検討</p> <p>■初めて割 (25歳以下の利用者)、応援割 (ワークショップ修了者) の検討、実施 (再掲)</p> <p>■2階レストランスペースでの打ち上げ、昼食利用等の提案</p> <p>□意見箱の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビー1か所</li> <li>・楽屋1か所</li> </ul> <p>■本舞台利用時にショップの営業を行います</p> <p>■新しいオリジナル商品の開発に着手します</p>	<p>■利用案内、ホームページで周知しました。</p> <p>■WEB への情報アップタイミングや手続き、予約システムとの連動など解決すべき課題が多くあるため、引き続き検討を行います。</p> <p>■MICE ワーキング会議にて紹介(8月)、企業様向け見学会 2回実施 29名(12月)、企業様向け見学会 1回実施 1名(2月)</p> <p>■旧レストランでの昼食や公演後のレセプションなど、検討をすすめています。</p> <p>■現在の利用状況を検討した結果、平日午前の利用促進を促すもの、若い世代の利用を促すもの、ワークショップ受講者からの継続利用を促すものの3種のプランに取り組むことになりました。H30.5から「初めての朝割」「初めてのU25割」「応援割」として開始します。</p> <p>■有料のサービスを検討し、提案準備をすすめています。</p> <p>□達成指標どおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントランス受付に設置し、いつでもご意見をいただけるようにしました。</li> <li>・楽屋入口に設置し、いつでもご意見をいただけるようにしました。</li> </ul> <p>■オリジナルのお菓子や関係書籍を公演時に販売し、能楽堂での思い出をお持ち帰りいただくサービスの一助となりました。H29年度ショップ収入は152万円で、館の収入に貢献しています。</p> <p>■新てぬぐい「舞」の関連グッズハンカチ、ブックカバー等7品目追加</p>
--	--	---

	<p>■オリジナル生落雁「鏡板」の販売を強化します</p> <p>■新てぬぐい「舞」と関連グッズの販売を強化します</p> <p>□フリーWi-Fiの運用をスタートします</p> <p>ロビー・展示廊エリア 1台 常時提供</p> <p>見所エリア 2台 必要時に提供</p>	<p>■季節や公演内容に連動させ、紅白、抹茶風味、桜型等と展開し売上増につなげました。</p> <p>■関連グッズの種類も増えてにぎやかなディスプレイとなり、お客様に選ぶ楽しみを提供できました。</p> <p>□5/1 提供開始</p> <p>・ロビー・展示廊エリア 1台 常時提供</p> <p>館内自由見学者向けタブレット 10台を試験導入(3/3-4/15)しました。また、Wi-Fiを活用したクレジットカード・電子マネー決済システムを導入しました。</p> <p>・見所エリア 2台 必要時に提供</p> <p>初心者向けの公演開催時にタブレットガイド(日・英)を50台導入しました。(実績1回)</p>
--	--	--

(3) 組織的な施設運営の取組、職員の確保・職能、配置及び育成

<p>[目指す成果]</p> <p>専門館ならではの事業の実施、施設の堅実な運営に向けて人材を配置・育成します</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>必要な配置に向け努力しました。事業系人材育成のため外部研修を含め積極的に職員を研修参加させました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①明確な責任体制の構築、勤務シフトの設定</p> <p>②適切な休館日の設定</p> <p>③専門性人材の安定的確保と能力向上に対する方策の実施</p> <p>④求める役割を果たす責任者・職員の配置</p> <p>⑤各研修の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■管理運営チームリーダーが貸館と施設広報を担い、利用率達成を目指します。</p> <p>■プロデューサーとなる企画制作担当職員は、先輩後輩のペア制をとることでOJTを行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■チームリーダーの役割を明確にし、貸館営業を強化しました。下半期には利用率向上の具体的なプランも整いました。</p> <p>■公演ごとに1事業2名体制を明確にし、OJTを実施しました。</p>

項目	人数	備考	項目	人数	備考
館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー	館長	1	エグゼクティブ・プロデューサー
経営グループ長	1	管理運営 1	経営グループ長	1	管理運営 1
管理運営チームリーダー	1	管理運営 1 ※貸館営業担当	管理運営チームリーダー	1	管理運営 1 ※貸館営業担当
職員	7	企画制作 4 庶務 経理 1 広報営業 1 施設管理 1	職員	6	企画制作 4、庶務 経理 1、広報営業 1
補助職員	17	事務室補助職員 1、受付スタッフ 16	補助職員	18	事務室補助職員 1、受付スタッフ 16、 施設管理 1
<p>□開館日数：339 日</p> <p>□施設点検のための休館日：年間 26 日</p> <p>■勤務体制</p> <p>【基本】館長を除きローテーションでの勤務体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館長 9:30～18:15</li> <li>・経営グループ長以下の職員 <ul style="list-style-type: none"> <li>A勤務 8:45～17:30</li> <li>B勤務 13:15～22:00</li> </ul> </li> <li>・補助職員（B1F 事務所） <ul style="list-style-type: none"> <li>A勤務 8:45～17:15</li> <li>B勤務 13:30～22:00</li> </ul> </li> <li>・補助職員（1F 受付） <ul style="list-style-type: none"> <li>A勤務 8:55～14:40</li> <li>B勤務 14:30～20:15</li> </ul> </li> </ul>			<p>■施設管理 1 名が補助職員ではありますが、新たに位置づけた管理運営チームリーダーが統括することにより業務計画通り実行しています。</p> <p>□339 日</p> <p>□年間 26 日</p> <p>計画通り必要な施設点検を行いました。</p> <p>■早番、遅番の 2 交代制を基本として午前 9 時から午後 10 時までの開館時間を適正な出勤人数で運営しました。人員を要する主催事業や貸館状況がある際は、月 1 回の全体会議等で確認、シフトを調整し柔軟に対応しました。</p>		

	<p>□バリアフリー研修 1回</p> <p>■公文協・劇音協ほか外部セミナーの受講を推奨し、専門知識の習得に努めます</p> <p>■公演視察、財団主催研修へ職員を参加させ資質向上およびスキルアップをはかります。</p> <p>■調査研究のための出張 国内1か所、海外1か所</p>	<p>□3/5 開催「知的障がいについて学ぶ」をテーマに講師を招き知識を習得しました。</p> <p>■6/2 海外アーティストとの契約セミナー受講、6/9-10 公文協全国大会出席、7/3-7/7 ステージラボ高知参加（自主事業・音楽コース）、11/27 写真の撮り方研修、11/29 古典芸能こども取組み研修、12/6 公文協音響改修研修、2/20-23 ステージラボ横浜参加（自主事業・音楽コース）、2/20 公文協研修「NHK 横浜放送局に聞く公共性」、2/28 カルチャーニッポン、「能装束講座」2回実施 講師：能装束研究所 山口憲 氏（能装束研究者）</p> <p>■4/12 新採用カルスタ研修、5/27 あざみ野カレッジ「舞台衣装デザイナーの仕事」受講、6/1 新採用職員研修（事務局）、7/11 観世能楽堂視察、8/10 横浜市マーケティング研修、8/28 横浜市コンプライアンス研修、9/12 カルッツかわさき内覧会、9/22 財団経理研修、9/30 山本能楽堂視察、10/1 金沢能楽美術館、石川県立能楽堂視察、10/5 横浜市コンプライアンス研修、12/5 貸館における法律知識研修、12/8 横浜市人権研修、12/20 ワークライフバランス研修、2/13TPAM スピードネットワークキング 2名、2/13SNS 研修2名、2/23 専門人材プレゼン研修 2名</p> <p>■国内3か所  沖縄（7月、10月、1月）、金沢（10月）、大阪（10月）、新潟（3月）</p> <p>■海外2か所  スペイン（6月）、チェコ（9月）</p>
--	--	---

(4) 本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[目指す成果]          横浜市の重要施策を踏まえて、真摯に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り]          横浜市の重要施策を踏まえて、取り組みを行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護          ②コンプライアンスの遵守          ③適正な情報公開          ④人権尊重          ⑤環境への配慮          ⑥市内中小企業優先発注          ⑦男女共同参画の推進</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルに則り適切に対応します。  <input type="checkbox"/>個人情報取扱い研修 年1回</p> <p>■印刷物を中心にダブルチェックの徹底</p> <p>■コンプライアンス委員会での情報共有を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>全職員対象コンプライアンス研修 年1回  <input type="checkbox"/>横浜市主催人権研修に職員を参加させます 年1回</p> <p>■省エネルギー・節電・ごみ減量に取り組めます</p> <p><input type="checkbox"/>中小企業への優先発注 全発注の9割以上</p> <p>■労働時間を適切にコントロールし、超過勤務の抑制に努めます</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルを全員で共有しました。  <input type="checkbox"/>6/21に印刷物手順確認研修を行いました。</p> <p>■印刷物は経営グループ長まで複数名で校正し、誤記載を防ぎました。          ■コンプライアンス委員会後すみやかにメモを作成し、職員に共有しました。  <input type="checkbox"/>3/7に実施しました。</p> <p><input type="checkbox"/>12/8 泉公会堂に参加しました。</p> <p>■施設の利用状況に合わせて不要な電気や空調オフにしました。利用者にはごみを極力お持ち帰りいただき、持ち帰りが困難な場合はごみ袋を有料で提供し量の抑制をはかりました。</p> <p><input type="checkbox"/>達成指標どおり実施しました。市内中小企業への発注を原則としました。</p> <p>■職員平均超勤時間 14.2H/月</p>

3 文化事業

(1) 能楽等の継承・振興・発展に向けた次世代育成、愛好者の拡大

<p>[目指す成果]                  敷居が高いと思われがちな能楽等古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り]                  普及公演「横浜狂言堂」を中心に、子ども向け、初心者向けとターゲットを明確にした事業展開を行いました。すべての事業で達成指標を超える成果があり、古典芸能の裾野の拡大につなげました。</p>		
<p>[取組内容]                  ①能楽等の古典芸能の継承、振興や発展に向けた公演、講座・ワークショップの実施</p>	<p>[達成指標]  <input type="checkbox"/>普及公演「横浜狂言堂」全12回                  毎月第二日曜日開催、解説付きで2000円の料金設定により初心者だけでなく、鑑賞回数を増やしたい層にも魅力ある公演です。                  券売率90% 入場者数437人/回(12回 5,244人)</p> <p><input type="checkbox"/>7/2 普及公演「人間国宝が案内する能の名曲」1回                  講座「スリーステップで学ぶ能」の後継事業として、一流の出演者による上質の入門講座として、はば広い世代向けに開催します。                  券売率80%/入場者数388人</p>	<p>[実施内容と達成状況]  <input type="checkbox"/>毎月第2日曜日に開催                  (4/9、5/14、6/11、7/9、8/13、9/10、10/8、11/12、12/10、1/14、2/11、3/11)                  ・平均券売率97.7%                  (4月91.9%、5月93.3%、6月100%、7月100%、8月100%、9月100%、10月100%、11月100%、12月99.6%、1月99.6%、2月89.5%、3月100%)                  ・平均入場者数464人                  (12回 5,576人)                  もう1枚分のチケット代金で児童養護施設児童に加え「あしなが育英会」学生が鑑賞できるプロジェクトを実施し4名が鑑賞。</p> <p><input type="checkbox"/>7/2 開催                  ・券売率100%                  ・入場者数467人                  Wi-Fiシステムを活用した多言語字幕システムをタブレットで提供、50台を無料貸与しました。                  初心者でも楽しめる演目と一流演者の解説付きの工夫で販売予定枚数は完売しました。券売好調により、入場者数も目標を大きく上回りました。</p>
<p>②「クリエイティブ・インクルージョン」の趣旨を踏まえた、人種・国籍・宗教・</p>	<p><input type="checkbox"/>3/21 普及公演「バリアフリー能」1回                  「すべての人に能楽を」とい</p>	<p><input type="checkbox"/>3/21 開催                  ・介助者無料チケットを含め券売率94.1% (介助者チケット分を</p>

<p>障害の有無・性別・性的指向・年齢等に関係なくすべての人が参加できるとともに、ユニバーサル対応に向けた様々なサポート体制を整えた公演及び体験講座等の実施</p>	<p>うコンセプトで、障がいのある方へのさまざまなサポートを用意し実施します。</p> <p>視覚障がい者・聴覚障がい者向け事前見学会 各1回</p> <p>公演終了後の意見交換会 1回</p> <p>券売率 50% 入場者数 244人・介助者1名無料</p>	<p>除くと74.8%、介助者チケット81枚)。入場者数405人(うち介助者81人)</p> <p>点字による広報物、舞台触図、副音声、手話通訳、詞章の用意、触れる能面展示等各種サポートに加え、眼鏡型ウェアラブル端末20台とタブレット10台を貸出し、字幕配信を行いました。券売好調により、入場者数も目標を大きく上回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前見学会</li> </ul> <p>2/17 聴覚障がい者・視覚障がい者向け、2/25 知的障がい者向け(視覚4人(うち介助者2人)、聴覚5人、知的3人(うち介助者1人))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公演後の意見交換会(11人)</li> </ul> <p>3/21 公演後に知的障がいについての意見交換会を実施しました。</p> <p>主なご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説は「全部文字でおこす」「マンガで説明」など、いろいろな形があるとわかりやすい。</li> <li>・能は視覚でわかりやすいものを。怨念や情念というより動きのあるものや衣装が華やかな、抑揚がはっきりしているものがよい。</li> <li>・漢字にふりがなをつけるというよりは、もっと目で見て直観的にわかるものがよい。「ご案内」にふりがなで「ごあんない」をつけるのではなく「？」と表示するなど。</li> <li>・チラシをイラストにしたのは敷居が低く感じられよかった。</li> <li>・親や介助者が興味を持たないと本人も来ることは難しい。親や介助者をどうその気にさせるかがポイント。</li> </ul>
--	--	--

<p>③「クリエイティブ・チルドレン」の考え方に基づく、次代を担う子どもたち、その保護者、教育関係者等を対象とした施設内での能楽等の学習・体験機会、古典芸能に触れるきっかけの提供</p> <p>④子どもたちの感性、創造性を育み、意欲を発展させることのできるプログラムや継続性のある事業の実施</p>	<p>□8/5 講座「人間国宝・山本東次郎先生の狂言の時間」1回 夏休みに親子で狂言に親しむ公演。教科書掲載の「柿山伏」を中心に人間国宝により狂言の面白さを伝えます。 券売率 65% 入場者数 315 人 こども料金 500 円（1 名）を設定します</p> <p>□8/5 特別講座「先生のための狂言教室」1回 講座「人間国宝・山本東次郎先生の狂言の時間」終了後、狂言師を講師に、国語科における狂言単元の活かし方について特別講座を開催します。 参加者数 30 人</p> <p>□こども狂言ワークショップ 入門編 3 日間 山本東次郎家を講師に迎えて夏休みに小・中学生の子ども対象のワークショップを開催します。 参加者数 20 人以上</p> <p>□こども狂言ワークショップ 卒業編 10 日間 入門編の参加者のうち舞台での発表を目標としたワークショップを開催します。 参加者数 6 人</p>	<p>・坂があるという情報があるとよい。「坂を登って能楽堂に行こう！」というイベント性をもたせてはどうか。</p> <p>・すばらしい試み。能舞台を自分で踏めるというのは夢のようなこと。とても刺激を受けました。</p> <p>□8/5 開催 券売率 100%、入場者数 447 人（うち子ども入場者数 123 人） 親子で楽しむ公演。子どもが初めて観ても楽しめる狂言 2 曲と人間国宝の解説により狂言の面白さを伝えました。 学校関係者への広報とこども料金 500 円を設定したことにより販売予定枚数は完売しました。券売好調により、入場者数も目標を大きく上回りました。</p> <p>□8/5 実施 参加者申込 68 人、参加者 58 人 講座での経験を授業で子どもたちに伝え、古典芸能への興味につなげることを目的とし、教員及び教職課程学生を対象に初めて開催しました。</p> <p>□8/7、8、9 実施 参加者 25 人</p> <p>□稽古 10 回実施（1/10、16、25、2/6、16、22、3/6、13、20、29）参加者数 7 人</p>
---	---	--

<p>⑤市内の子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供するため、「横浜市芸術教育プラットフォーム」にコーディネーターとして参画し学校プログラムを実施</p> <p>⑥能楽等の次世代の育成に向けて、若手の演じ手や公演等の作り手の積極的な登用</p> <p>⑦古典芸能の魅力を伝え、興味や関心に応じて体験することのできるワークショップや講座等の開催</p> <p>⑧愛好者の定着に向けた古典芸能に触れる際や活動にあたってのサポート・相談体制を整え、継続的に技術を研鑽できる機会の提供</p>	<p>□横浜こども狂言会 1回 こども狂言ワークショップでの稽古の成果を、OB・OG組織である「いろはの会」メンバーとともに本舞台で披露します。 「こども狂言ワークショップ～卒業編～」からの参加者5人、いろはの会の参加者を含め15人以上 入場者数100人</p> <p>□「横浜市芸術教育プラットフォーム」学校プログラム狂言・古典芸能を軸にコーディネートを行います。 5校実施</p> <p>■通常の公演企画を通じて実力ある若手の演じ手を起用していきます。</p> <p>□講座「初めての能楽教室」お稽古の機会が得にくい能楽教室を、主に大人初心者を対象に開催します。 謡・仕舞 20人、能笛 12人、太鼓 12人 合計 44人</p> <p>■横浜能楽堂主催ワークショップの修了者が継続的な稽古を支援するため、施設利用料の減免制度「応援割」新設を検討します。</p>	<p>□H30年4/1実施 参加者25人 来場者260人 卒業編からの5人が「いろはの会」とともに本舞台で成果を披露。いろはの会からの参加者が多く、目標を上回りました。 天候も良く、花見の時期と重なり例年より来場者が増えました。</p> <p>□10-1月で5校実施（舞岡小、小机小、荏田南小、金沢小、牛久保小）</p> <p>■普及公演を中心に若手の演じ手を起用し、今後の能楽等の継承と振興に寄与できるよう努めました。</p> <p>□11-2月 10回実施 『謡・仕舞』13人 『能管』12人、 『太鼓』12人 参加者37人 7/1募集開始、9/15締切、11/7教室スタート、2/18発表会 参加者の年代：10代5%、30代19%、40代32%</p> <p>■ワークショップ受講中のお稽古、終了後の継続利用を促すプラン「応援割」を検討しました。 H30.4に市に必要な手続きを行い、H30.5から開始します。</p>
---	---	--

(2) 能、狂言その他の古典芸能の振興・発展

<p>[目指す成果]</p> <p>全国の能楽ファンを魅了するような企画性・創造性に富んだ質の高い公演を行います。 古典芸能分野を軸とした発信性のある国際交流事業を実施します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>二つの企画公演「宝生流と山田流」および「能の花 能を彩る花」を中心に、企画性の高い公演を実施し、広く集客を行いました。すべての事業で目標券売率を達成しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①本舞台・第二舞台を活用した公演等の開催</p> <p>②能・狂言等の継承性と創造性のバランスに配慮しつつ、横浜能楽堂独自の創造的な公演や古典芸能の多彩な公演の実施</p> <p>③能楽等の鑑賞者を広げ、愛好者の定着を図るため、能</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□5/20「特別公演」 1回 人間国宝による能「江口」 券売率 80% 入場者数 388人</p> <p>□9/2 横浜能楽堂+ジャパン・ソサエティー共同制作公演「ダンス「左右左-踊る新嘗祭-」1回 舞踏と能楽囃子、能舞台のコラボレーションにより実験的な新作を上演します。 ニューヨークにあるジャパン・ソサエティーでの公演2回。 券売率 65% 入場者数 315人</p> <p>□NY ジャパン・ソサエティーでの公演 2回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□5/20 開催 紫綬褒章受章の浅見真州による能の名曲「江口」と人間国宝・野村萬による狂言「舟渡賀」を上演。 券売率 98%、入場者数 441人 一流の演者による名曲の上演が話題になりました。券売好調により、入場者数も目標を上回りました。</p> <p>□9/2 開催 横浜能楽堂+ジャパン・ソサエティー共同制作公演「SAYUSA—左右左—」 券売率 100%、入場者数 452人 ドナルド・キーン原案指導・協力、能楽囃子の太倉源次郎、藤田六郎兵衛、そしてダンサーの笠井叡、鈴木ユキオ、中村恩恵、能楽子方の長山凜三が出演し、コンテンポラリーダンス「SAYUSA-左右左(さゆうさ)-」の世界初演を行いました。それに先立ちドレスリハーサルを9/1に行いました。 ダンスとのコラボレーションにより幅広く集客できたこと、横浜赤レンガ1号館の広報協力を得られたことなどから販売予定枚数を完売しました。ダンスの専門家の来場も多くありました。</p> <p>□10/13 209人、10/14 236人</p>

<p>及び狂言等の基本知識や曲の見どころ・背景などを分かりやすく伝える等の創意工夫を凝らした公演の定期開催</p> <p>④文化専門施設として蓄積した高度かつ専門的なノウハウを発揮し、横浜や横浜能楽堂ならではの発信性ある魅力的な公演・事業等の実施</p>	<p>□9/18企画公演「芸の縁 山田流と宝生流」1回      箏曲・山田流の始祖である山田検校と能楽・宝生流との縁に着目し、能を典拠とする箏曲と能を組み合わせて上演します。      券売率 80% 入場者数 388人</p> <p>□10/28、11/23、1/13、2/10、3/10 企画公演「能の花 能を彩る花」(全5回)      池坊 555 周年にちなみ花に関する能を連続上演。4 世池坊専好が舞台を花で彩る大型企画です。      券売率 85% 入場者数 413人/回 (全5回 2,065 人)</p> <p>□2/4 企画公演 横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」第4回 1回      能と組踊の類曲を上演する連続公演の第4回。ユネスコ世界無形遺産に施設されている能と組踊を比べて鑑賞できる公演です。      券売率 80% 入場者数 388人</p> <p>□(未定) 日本・チェコ国交回復 50 周年記念公演「川本喜八郎が見た世界、描いた世界」1回      周年関連事業として、チェコ</p>	<p>□9/18 開催      企画公演「芸の縁 山田流と宝生流」 券売率 96%、入場者数 426人      山田流と宝生流のつながりを示しながら、両者が融合した新作「小町」の上演のほか、箏曲「長恨歌曲」と能「楊貴妃」を上演しました。事前の広報努力により券売率が上がりました。券売好調により入場者数も目標を上回りました。同時期に名人たちの縁の品を集めた特別展示を行いました。</p> <p>□10/28、11/23、1/13、2/10、3/10 開催(全5回)      券売率平均 88.5% (81.5%、88.2%、100%、92.6%、80%)、入場者数平均 390人(363人、379人、452人、407人、352人) 全5回 1,953人      総入場者数は若干目標を下回りましたが、概ね目標どおりでした。</p> <p>□2/4 開催 券売率 85.7%、入場者数 385人。      横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」第4回「放下僧」と「二童敵討」      能「放下増」味方玄(観世流) 組踊「二童敵討」東江裕吉、新垣悟      能と組踊の類曲を上演する連続公演の第4回。ユネスコ世界無形遺産に指定されている能と組踊を比べて鑑賞できる公演。幅広いファン層にアピールすることで、目標を若干上回りました。</p> <p>□12/16 開催      特別企画公演「川本喜八郎の世界一人形劇・能・人形アニメーション」 券売率 99%、入場者数 374人</p>
---	---	---

	<p>国立マリオネット劇場の人形劇と能、人形アニメーションのつながりを見せる公演です。 券売率 80% 入場者数 388 人</p> <p><input type="checkbox"/> (未定) 台湾レジデンス事業 横浜でのレジデンスによる制作活動 1 回実施 日台共同制作作品のための台湾・國光劇団のメンバーと常磐津文字兵衛によるワークショップ・レジデンスです。</p>	<p>日本・チェコ国交回復 60 周年を記念し、チェコで巨匠イー・トルンカに学んだ人形アニメーション作家・川本喜八郎のアニメーション作品「火宅」と、その根拠となった能「求塚」、そしてチェコの人形劇団であるアルファ劇団を招聘性手の新作人形劇「トルンカのサーカス」を上演しました。他分野と連携することで新たな顧客が開拓でき、販売予定枚数をほぼ完売しました。若干目標を下回りましたが、概ね目標どおりの入場者数でした。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 回実施 8/27-31 に実施。12/8-15 に台湾国交劇団でのレジデンスも実施され、能楽堂から職員が立ち会いました。</p>
--	--	--

(3) 能楽堂自体の魅力の発信

<p>[目指す成果] 和の文化施設として今までにない能楽堂の魅力を発信し認知度の向上をはかります。</p> <p>[成果についての振り返り] MICE ワーキングへの参加や事業へのイベント協力等により、認知度向上をはかりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①貸館営業、広報営業担当の人員配置</p> <p>②能舞台の文化的価値や日本の伝統文化の発信、おもてなしの拠点となる文化プログラムやユニークベニュー等の企画、多言語対応を含む受入を行うことによる、横浜や横浜能楽堂の魅力や認知度の向上</p> <p>③観光・宿泊プラン、国際会議</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> トラベルマート等の商談会視察 1 回</p> <p><input type="checkbox"/> 提案可能な日本文化体験プログラムの作成 1 本</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> 6 回 6/15 第 1 回 MICE ワーキング会議、6/23 YCVB 第 1 回賛助会員事業推進協議会、7/11 インバウンド会議@みなとみらい 21、8/3 横浜国際インバウンドフォーラム、9/6 「外国人観光客を呼び込むホスピタリティ研修」</p> <p><input type="checkbox"/> 1 本 9/15 「一日伝統文化体験ツアー」DMO 丸の内にて紹介、12 月同ツ</p>

<p>等、MICE と連携し、アフターコンベンション等への施設提供</p>	<p>□提案可能な公演鑑賞パッケージの作成 1本</p> <p>□大規模合コン「街コン」開催 2回</p> <p>□近隣ホテルとのお食事付チケットプラン 1公演</p> <p>■英語接客が可能なスタッフは「ENGLISH OK!」バッチ着用</p> <p>■能・狂言の英文解説をすべての演目で用意します</p> <p>■館内サインのピクトグラム化の検討</p> <p>■インターネットチケットサイトの英語版導入</p> <p>■（公財）横浜観光コンベンションビューローとの情報共有によるプロモーションの推進</p> <p>（人員配置については、2（3）のとおり）</p>	<p>アーに関するホテルヒアリング6件、1月同ツアーに関するホテルヒアリングまとめ。</p> <p>□1本 8/1MICE 振興課へパッケージ案を提案</p> <p>□2回（8月、11月） 8月「横浜狂言堂」で『街コン』、11月「能の花 能を彩る花」で『大人コン』を実施。</p> <p>□3公演 「芸の縁 山田流と宝生流」1公演、「能の花 能を彩る花」2公演、計3公演で実施。</p> <p>■年間を通じてバッチを着用し海外からのお客様に対応しました。</p> <p>■すべての演目で英文解説を用意したほか、7/2「人間国宝が案内する能の名曲」ではタブレットによる解説も実施しました。</p> <p>■お問い合わせの多いトイレ、2階への動線を中心に予算確保を含め検討を継続します。</p> <p>■4/9 発売「横浜狂言堂」チケットから英語での申込開始。</p> <p>■8/25横浜コンベンションビューロー主催の「第2回 MICE ワーキング」を実施。12団体14人の参加。</p>
---------------------------------------	---	---

(4) 能楽等に関する地域等との連携事業

<p>[目指す成果] 地域との連携を密にし、能楽堂の地域文化資源としての魅力をPRします。</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜市内の能楽愛好団体との連携、能公演実施の連携など、古典芸能の活性化に寄与したほか、西区との連携、周辺イベントの参加、地域文化施設として地域へのPRなど、より能楽堂を知っていただけのように取り組みました。</p>
--

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>①国際文化交流拠点としての役割期待を踏まえた地域、地元企業等との連携、能楽等の振興に資する活動の実施</p> <p>②能楽師を中心とした演者、能楽等の団体・他の能楽堂や能楽等を支える伝統工芸に関わる作家や企業、愛好者の団体等との幅広いネットワークの形成</p> <p>③学生等をはじめとした職場訪問・職業体験やインターンシップ等の受入、専門知識を習得している段階の学生や市民ボランティア等、地域と連携し、愛好者や人材の育成支援</p> <p>④近隣小学校への能、狂言の学習サポート</p> <p>⑤地域住民への公演告知等による能楽堂や古典芸能に触れる機会の提供</p> <p>⑥施設見学会の開催</p> <p>⑦地域の古典芸能振興として、実演家・地域企業・関連団体と連携・ハブを担う、能の公演の開催</p> <p>⑧近隣団体との協働事業への参加、近隣施設との協力</p> <p>⑨横浜市内在住外国人への広報</p>	<p>□ 6 /17 第 65 回横浜能 1 回 横浜ゆかりの能楽師による能「養老」 横浜能楽連盟との共催。 券売率 80% 入場者数 388 人</p> <p>□中・高校生の職場体験受入 2 校</p> <p>□小・中・高校の見学・学習サポート 3 校</p> <p>■児童・生徒向け見学パンフレットの作成</p> <p>□10/ 1 「横浜かもんやま能」1 回 ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催 事業運営・広報協力を行います</p> <p>□施設見学会 月 1 回開催 年間 12 回以上実施 うち 1 回を 8/11 の山の日の祝日に開催し、児童・生徒や働く人が参加しやすい日程を新設します。</p>	<p>□ 6 /17 実施 入場者数 449 人、券売率 100% 観世流のシテ方で横浜市内在住の能楽師・梅若紀彰による能「養老」と和泉流野村又三郎の替間「薬水」を上演しました。横浜能楽連盟との連携により販売予定枚数を完売しました。券売好調により入場者数も目標を上回りました。</p> <p>□中高生 2 校、インターン 1 名 5/12 中学生 5 名、8/5、7 高校生 1 名、8/5-9/2 大学生インターンシップ 1 名、9/1-2 大学生インターンシップ 1 名</p> <p>□6 校及び大学 2 校 小中校：6/30 横浜市立本町小学校 31 名、9/7 横浜市立本町小学校 30 名、10/26 横浜市立本町小学校 30 名、11/7 桜台小 86 名、11/8 東汲沢小 94 名、11/29 鶴見養護学校 54 名、大学：5/9 沖縄県立芸術扶大学 15 名、10/19 東京藝大大学院 1 名</p> <p>■8 月カラーパンフレット完成</p> <p>□10/15 開催 第 34 回かもんやま能 入場者数 437 人 能「弱法師」、狂言「萩大名」を上演。広報協力、チケット販売代行、当日進行を担いました。</p> <p>□21 回 4/1 さくらフェスタ特別見学会 161 名、4/13 施設見学会 8 名、かながわ健生クラブ 40 名、5/11 施設見学会 29 名、5/26MICE 振興課 3 名、財団新採用者 3 名、6/6 オルガン 1 ドルプラス特別見学会 18 名、6/8 施設見学会 22 名、7/13 施設見学会</p>

	<p>□施設見学会 参加者数各回 15人以上</p> <p>□近隣住民へのちらし配布 2回/年（利用案内含む）</p> <p>□みなとみらい 21・さくらフェスタ 2017 への参加</p> <p>■「野毛まちなかキャンパス」実行委員会との協働</p> <p>□西区 町歩き企画への協賛・共催 1回以上</p>	<p>19名、8/11「山の日スペシャル」施設見学会①140名②84名、9/14施設見学会 27名、9/26MMH新採用職員 6名、10/12施設見学会 21名、10/24大分市企画部視察 1名、11/9施設見学会 21名、12/6東京事務所所長会 12名、12/22金沢能楽美術館視察 2名、1/27建築保全公社募集見学会 56名、2/9横浜 10大ニュース応募者見学会 12名、3/8施設見学会 7名、3/25「春の見学会」①94名②61名</p> <p>□40人/回</p> <p>山の日スペシャル、さくらフェスタに合わせた春の見学会に多くの集客があり、目標を大きく上回りました。</p> <p>□4回</p> <p>8/11クオス、グランメゾン、紅葉坂レジデンスに見学会チラシ置き、9/5ザ・パークハウス伊勢町モデルルームに特別展チラシ掲示、2月クオス、紅葉坂レジデンス、朝日カルチャーセンターに2018狂言堂、能の花、バリアフリー能、企業向け見学会チラシ置き、3月グランメゾンに2018狂言堂、能の花、バリアフリー能、春の見学会ちらし掲示</p> <p>□施設見学会 4/1 161人参加、呈茶席 72人。</p> <p>■10/30「横浜能楽堂探訪～140年余りの歴史を持つ関東最古の能舞台～」を開催。受講生 18人。</p> <p>□4回</p> <p>4月まち歩きミニ見学会、3月末～6月春のまち歩きキャンペーン「にしまろちゃんのぶらり川柳を探せ！」参加、11月西区民まつり情報科学専門学校と「ハコスコ」</p>
--	---	--

	<p>■WEB ページ、ツイッターの多言語化を実現します</p>	<p>コンテンツ協力、12月広報よこはま西区版お正月プレゼント協賛</p> <p>■WEB ページの多言語化を実施しました。</p>
--	----------------------------------	--

(5) 情報提供及び渉外、広報・プロモーション活動

<p>[目指す成果]</p> <p>情報発信、提供を積極的に行い、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>広報媒体への働きかけや能楽堂ウェブサイト、ブログ・ツイッターやインターネット動画配信と新たにフェイスブックを使い、多角的な広報展開で能楽堂の周知をはかりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①施設の紹介</p> <p>②公演、事業の紹介</p> <p>③横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営</p> <p>④業務計画書等の公開</p> <p>⑤マスコミ等を中心とした幅広いプロモーションの実施</p> <p>⑥能楽関連の情報、資料の開示</p> <p>⑦公演・講座記録として開館以来の公演等の記録を整理し、「横浜能楽堂アーカイブ」構築の検討</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□WEB ページアクセス数 ※新基準による</p> <p>トップページ7,500/月</p> <p>ページビュー：33,000/月</p> <p>□ツイッターフォロワー数：2,100人</p> <p>□年間スケジュール：10,000部</p> <p>□3か月の行事予定「橋がかり」：毎月10,000部</p> <p>□横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：800人</p> <p>□広報資料送付：新聞・雑誌・テレビ等のマスコミ約100社</p> <p>□新聞、雑誌の掲載：年間24本</p> <p>□ニコニコ動画による「横浜狂言堂」のライブ配信：5公演 視聴数1500人</p> <p>■1F 書架の閲覧について来館者へ周知します。</p> <p>■電話やメールでの問い合わせに対して迅速に回答します。(日本語、英語)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□トップページ10,501/月、ページビュー54,548/月</p> <p>ブログ22回更新(前年比+7回)</p> <p>□2,359人</p> <p>3月末現在</p> <p>296ツイート/月(前年比+127)</p> <p>□10,000部配布</p> <p>計画どおり印刷しました。</p> <p>□毎月10,000部配布</p> <p>計画どおり印刷しました。</p> <p>□749人</p> <p>□約100社</p> <p>計画どおり送付しました。</p> <p>□年間50件</p> <p>個別記事でインタビューなどに基づいたものとしています。</p> <p>□5公演(7/9、8/13、10/8、12/10、1/14) 視聴者数1,697人</p> <p>■ツイッターを活用するなど周知に努めました。</p> <p>■WEB ページにお問い合わせフォームを掲載し質問・ご意見を受けました。宛先はグループメールアドレスで職員全員が確認でき</p>

	<p>■公演・講座記録についてプログラム、映像に分けて整理しアーカイブについて検討を始めます。</p>	<p>るようにし、担当者から迅速に回答しました。</p> <p>■整理の分類方法の検討を進めました。</p>
--	---	--

(6) 館内展示及び収蔵品の管理の実施

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に実施します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に実施しました。特別展では予想の1.5倍のお客様にご覧いただきました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①常設展の開催 ②特別展の開催 ③収蔵品の管理 ④展示の和文・英文表記の充実</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□常設展開催 年2回以上 観覧者数 4,500人</p> <p>□特別展 「芸の縁 山田流と宝生流」開催 1回 観覧者数 3,000人</p> <p>■収蔵品を適切に管理します</p> <p>■常設展、特別展の英文表記の実施</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□3回(5月、10月、3月)、 観覧者数 6,308人</p> <p>□特別展「芸の傍 山田流と宝生流の名人たち」開催期間 8/26-10/9 (休館日除く 43日間)、来場者数 3,678人(8月40人、9月2,641人、10月997人) 開催期間 8/26-10/9 (休館日除く 43日間) ギャラリートーク 9/14 参加者 15人 10/1 参加者 10人</p> <p>■貴重な装束や能面等の収蔵品を、業務の基準に基づき適切に管理しました。8/11に装束の虫干しを実施しました。</p> <p>■達成指標どおり実施 キャプション、解説パネルの英文表記を実施しました。また、特別展(10月)では挨拶パネルの英文表記も実施しました。</p>

(7) その他文化事業に関する取組

<p>[目指す成果] 能楽研究者および大学とのネットワークを活かし企画の充実を図ります。</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜国立大学の教材作成、沖縄県立芸術大学の研修施設見学について、学生の実習機会の協力をしました。</p>
--

<p>[取組内容]</p> <p>①外部専門家（能楽関係者、研究者、文化団体、大学等）との協力体制・連携</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>一般社団法人 伝統組踊保存会との提携公演実施 1回（3の(2)に記載）</p> <p><input type="checkbox"/>横浜国立大学教育人間科学部との能楽研究教材作成協力1公演</p> <p><input type="checkbox"/>JAPAN SOCIETY(ニューヨーク)との提携公演 2回（3の(2)に記載）</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>2/4 開催 「能の五番 朝薫の五番」</p> <p><input type="checkbox"/>7/2 普及公演「人間国宝が案内する能の名曲」で実施</p> <p><input type="checkbox"/>2回（10/13、14） JAPAN SOCIETY(ニューヨーク) 「SAYUSA」提携公演</p>
--	--	--

#### 4 収支計画及び指定管理料

##### (1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え方

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、適切に運用します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、適切に運用しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①適切な料金設定</p> <p>②利用状況に合わせた支払方法</p> <p>③条例及び施行規則に基づく減免等の運用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■学校鑑賞会利用における半額減免を導入します</p> <p>■児童、生徒、学生の見学会の全額減免 (料金設定・支払方法等は、2(1)のとおり)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■将来の能楽鑑賞層や次世代育成につなげるため、横浜市内に限らず小・中・高校による貸館利用について半額減免を実施しました。</p> <p>■将来の能楽鑑賞層や次世代育成につなげるため、横浜市内に限らず小・中・高校などの教育機関による見学会の全額減免を実施しました。実績8件。</p>

##### (2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>①自主事業収入・利用料金収入の安定的な確保</p> <p>②助成金、寄付金の確実な獲得</p> <p>③協賛金収入の獲得</p> <p>④利用料金収入の安定的な確保</p> <p>⑤貸館における友の会会報へ</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>利用料金収入 16,100千円</p> <p><input type="checkbox"/>文化庁等の外部資金獲得 35,625千円</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>14,395千円 利用案内の周知を工夫しましたが、目標に達しませんでした。</p> <p><input type="checkbox"/>21,209千円 文化庁助成金 21,149千円 寄付金収入 50千円 協賛金収入 10千円</p>
--	--	---

<p>のちらし封入サービス、主催公演パンフレットへのちらしはさみこみサービス等の提供</p> <p>⑥貸館公演におけるチケット作成代行、販売代行サービス等の提供</p> <p>⑦撮影料金の設定</p> <p>⑧オリジナル商品の開発及び販売</p> <p>⑨事業収支の健全性の基準設定及びそれに基づく適切な計画</p>	<p>■貸館の手引きにより、ちらし封入サービス、チケット作成、販売代行サービスの提供の周知を図ります。</p> <p>■撮影料金の設定を検討します</p> <p>■オリジナルショップ商品の開発検討</p> <p>■限られた経営資源を適切に配分するとともに外部資金を積極的に導入することで経営を安定化し、施設で収支バランスをとれる状態とします</p>	<p>■貸館打合せ時に情報提供しています。</p> <p>■使用条件などの整理とあわせて検討中です。</p> <p>■現在のオリジナル商品とのバランスを考えて検討中です。</p> <p>■経費節減をはかるとともに、助成金獲得等により収支均衡を目指しました。</p>
--	--	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を目指します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減をはかるよう努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①発注・事務処理、施設・設備管理等の留意による経費削減等効率的運営の努力</p> <p>②適切な人材配置及び超過勤務の削減及び職員のワークライフバランスを図ること等による人件費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ちらし作成枚数の精査、不要不急の支出の抑制を行います。</p> <p>■業務の効率化に努め、超勤時間のコントロールを行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■公演ごとの部数を精査して作成しました。支出についても案件ごとに必要性を検討し抑制に努めました。</p> <p>■平均 14.2H/月</p>

5 P D C Aサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <p>・日報及び月間業務報告書の作成・管理</p> <p>・業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p> <p>・業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■遺漏ない作成を行います</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施します</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■遺漏なく作成しました。</p> <p>■遅滞なく業務評価を実施しました。</p>
--	--	---

6 留意事項

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険及び損害賠償の取扱い</li> <li>・ 関係法令等の遵守</li> <li>・ 市及び関係機関等との連絡調整</li> <li>・ 近隣対策の実施</li> <li>・ その他</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係法令等を遵守します</li> <li>■ 業務の基準に従って適切に行います</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係法令等を遵守し運営しました。</li> <li>■ 業務の基準に従って適切に行いました。</li> </ul>
--	---	---

平成29年度 横浜能楽堂 事業実績一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数	実績回数
1	通年	主催	普及公演「横浜狂言堂」	横浜能楽堂 本舞台	能楽を広く普及するため、これまで能楽堂に来たことのない方も含めて、多くの方に横浜能楽堂に気軽に足を運んでもらうことを目的とした狂言会。	5,244	12	12
2	8月	主催	普及公演「人間国宝・山本東次郎先生の狂言の時間」	横浜能楽堂 本舞台	子どもたちが日本の伝統文化に触れる機会は少ない中、生の舞台を見ることで、昔の人々の「生活」や「笑い」に対するエネルギーを体感することができる。人間国宝山本東次郎が出演。解説では、日本人の精神性や文化等にも触れられ、伝統文化について考え、興味をもつ機会となる。	291	1	1
3	3月	主催	普及公演「バリアフリー能」	横浜能楽堂 本舞台	より幅広い層に能・狂言に親しんで頂くため、解説付きの普及公演を実施する。障がいがある方にも、気軽に能楽を楽しんで頂けるよう「バリアフリー能」と銘打ち、介助者一名無料、点字チラシ、副音声、手話通訳、パソコン通訳などのサポート態勢を整える。また、終演後に意見交換会を行い、障がいのある方から生の意見を伺う。	244	1	1
4	7月	主催	普及公演「人間国宝が案内する能の名作」	横浜能楽堂 本舞台	能楽には、難しい予備知識がなくても楽しめる名曲があり、そのような演目を実力のある演者が演じれば誰もが楽しめる舞台となる。今回は、初心者でも楽しめる能の名曲を、手ごろな価格で人間国宝による至芸をもって上演する。	388	1	1
5	8月	主催	講座「こども狂言ワークショップ 入門編」	横浜能楽堂 本舞台	夏休みの期間中の小・中学生を対象としたワークショップ。能楽をより身近に感じてもらえるよう、狂言の基礎から学ぶ実技と能楽の公演鑑賞を併せて実施。一流の狂言師を講師に招き、「入門編」ながらも本格的な狂言の稽古を体験する事により、能楽への興味を促す。	20	3	3
6	1月	主催	講座「こども狂言ワークショップ 卒業編」	横浜能楽堂 本舞台	夏休み期間中に開かれる「こども狂言ワークショップ-入門編」参加者を対象に「卒業編」を実施。	6	10	10
7	3月	主催	講座発表会「横浜こども狂言会」	横浜能楽堂 本舞台	こども狂言ワークショップ-卒業編-の修了生とそのOB組織である「いろはの会」のメンバーが、本舞台上で、本物の装束を付け、狂言を上演する。	15	1	1
8	未定	主催	講座「初めての能楽教室」	横浜能楽堂 楽屋	初心者が能楽の謡・仕舞や囃子の実技を学べる機会を提供し、能楽の普及に寄与する。継続して稽古を続けることを通して、個人の技術の向上だけでなく、公演に足を運び、能楽を伝える人材の育成も促す。	44	30	30
9	8月	主催	特別講座「先生のための狂言教室」	横浜能楽堂 本舞台	横浜市内教員対象。教科書に掲載されている「柿山伏」を鑑賞後、山本東次郎師より解説。授業でどのように子供たちに教えるか等の解説を質疑応答を含め行う。教材の活用促進を図る。なお、教科書掲載の能舞台は横浜能楽堂のものである。	30	1	1
10	通年	共催	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	未定 市内小学校	子どもたちの創造性をはぐくみ豊かな情操を養うことを目的に、狂言「柿山伏」を中心とした鑑賞とワークショップのコーディネート。 児童・先生方の伝統芸能への親しみと理解を助け本物に触れる機会を提供する。	300	5	5
11	5月	主催	特別公演	横浜能楽堂 本舞台	大曲・秘曲と言われる大切に扱われている曲を選び、現代を代表する一流の演者が、その曲を演じるに一番ふさわしい時をとらえて上演。鑑賞経験が豊富な方にも満足いただける公演を目指す。今年度は、観世流の浅見真州による能の大曲「江口」と、和泉流の人間国宝・野村萬による狂言を送る。	388	1	1

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数	実績回数
12	10月-3月	主催	企画公演「能の花 能を彩る花」	横浜能楽堂 本舞台	池坊専慶が花の名手として初めて歴史上に登場してから555年の節目を迎える2017年。555年に因み、5つの「花」に関する能を上演し、次期家元の四代目池坊専好がその舞台を「花」で彩る。室町時代に大きく発展した「能」と「華道」。「花」という共通のキーワードを持ち、近い存在でありながら、その交流が非常に限られてきた両者が競い合うことで、新たな「花」を創造する。	2,065	5	5
13	9月	共催	横浜能楽堂+ジャパン・ソサエティ共同企画公演 「左右左-踊る新嘗祭-」	横浜能楽堂 本舞台	日本研究の第一人者ドナルド・キーンの原案に、NY在住のイタリア人演出家・振付家ルカ・ベゲッティが、能楽大倉流小鼓方十六世宗家・大倉源次郎との共同制作を行い、コンテンポラリーダンスを創作する。 舞踏の第一人者である笠井勲、同じく舞踏の若手・鈴木ユキオ、コンテンポラリーダンスより中村恩恵の3人のダンサー、および能楽の名子方である長山凜三の身体を通じ、表現していく。横浜での初演の後、JAPAN SOCIETY共催で米国・NYでの公演を実施する。	315	1	1
14	9月	主催	企画公演「山田流と宝生流」	横浜能楽堂 本舞台	2017年は箏曲の二大流派山田流の祖・山田検校が没して200年の節目の年に当たる。山田検校は、尾張藩宝生流の能役者・三田了任の子と言われており、作曲した作品の多くが能の曲をモチーフとしている。山田検校没後200年を記念し、「四つ物」から「長恨歌曲」を人間国宝の山勢松韻が演奏。そのモチーフとなっている能「楊貴妃」を上演する。また山田検校の作品を元に萩岡松韻が新たに創作した曲で、宝生流宗家・宝生和英が舞う。	388	1	1
15	2月	共催	能の五番 朝薫の五番 第4回「放下僧」と「二童敵討」	横浜能楽堂 本舞台	伝統組踊保存会と提携し、能とそれに関係のある組踊を上演する各界の人間国宝級が出演し、平成27年1月から年1回公演を5年間行う。	388	1	1
16	未定	主催	日本・チェコ国交回復60周年記念公演 「川本喜八郎が見た世界、描いた世界」	横浜能楽堂 本舞台	日本とチェコの国交回復60周年の節目を記念して、チェコの人形劇に大きな影響を受けた日本を代表する人形アニメーション作家の川本喜八郎に焦点をあてた特別企画公演。能「求塚」と、川本喜八郎が影響を受けたチェコの人形劇を代表する「国立マリオンネット劇場」による人形劇の代表作を上演し、最後に、能「求塚」に取材して制作された川本喜八郎のアニメーション作品「火宅」の上映を行う。	388	1	1
17	6月	主催	第65回横浜能	横浜能楽堂 本舞台	昭和28年に第1回が開催されて以来、半世紀以上にわたり市内の能楽実演・愛好者団体である横浜能楽連盟が中心になって開催してきた催し。第51回からは横浜能楽堂の企画・共同主催により開催し、来年で65回目を迎える。 横浜能の充実・継続により、地元の能楽の活動を振興させる。横浜ゆかりの演目や演者による公演とし、横浜の能楽振興、能楽人材の養成に寄与する。	380	1	1
18	未定	共催	横浜かもんやま能	横浜能楽堂 本舞台	平成29年度の開催で34回目を迎える能楽公演。西区ふるさと協議会と共同主催。	388	1	1
19	通年	主催	横浜能楽堂友の会「かもん会」運営	-	友の会組織を維持し、自主事業の情報提供、チケットの先行発売、会員特典を提供	800	-	-

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数	実績回数
20	通年	主催	ニコニコ動画による「横浜狂言堂」のライブ配信	-	「横浜狂言堂」のYAFチャンネルでの実験生放送	1,500	5	5
21	通年	主催	常設展「初めての能・狂言」装束展示	横浜能楽堂 2階 展示廊	常設展「初めての能・狂言」開催時に、装束3領を山口能装束研究所より借用し展示する。来館者に上質の装束を鑑賞する機会を提供することで、能狂言への興味の向上をはかる。	4,500	3	3
22	9月-11月	主催	特別展「山田流と宝生流」	横浜能楽堂 2階 展示廊	企画展「山田流と宝生流」に併せ、山田流と宝生流200年の歴史を彩ってきた名品や名人たちの逸品を展示。	3,000	1	1
23	未定	主催	台湾レジデンス	横浜能楽堂 本舞台	平成30年度に日本と台湾の古典芸能を取り入れた新作を創作・上演するにあたり、台湾から崑劇関係者を講師に迎え、日本の実演家が台湾の古典芸能について学ぶ機会を設ける。ワークショップの参加をとおして、二国間で共同制作を行うための相互理解をはかる。	20	1	1

## 平成29年度 「横浜能楽堂」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	173,000,000	0	173,000,000	173,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	16,100,000	0	16,100,000	14,394,790	1,705,210	
自主事業収入	42,799,000	0	42,799,000	45,882,608	△ 3,083,608	
雑入	35,625,000	0	35,625,000	23,174,526	12,450,474	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	280,000		280,000	206,747	73,253	
その他（コピー代、炭代）	20,000		20,000	599,711	△ 579,711	
その他（補助金・助成金）	35,325,000		35,325,000	21,148,954	14,176,046	
その他（寄付金・協賛金）	0		0	85,114	△ 85,114	
その他（本部繰入金収入）	0		0	1,134,000	△ 1,134,000	
<b>収入合計</b>	<b>267,524,000</b>	<b>0</b>	<b>267,524,000</b>	<b>256,451,924</b>	<b>11,072,076</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>85,727,000</b>	<b>0</b>	<b>85,727,000</b>	<b>82,250,336</b>	<b>3,476,664</b>	
給与・賃金	72,653,000		72,653,000	68,787,405	3,865,595	
社会保険料	7,483,000		7,483,000	7,984,288	△ 501,288	
通勤手当	3,047,000		3,047,000	2,552,686	494,314	
健康診断費	96,000		96,000	130,111	△ 34,111	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	2,448,000		2,448,000	2,795,846	△ 347,846	
<b>事務費</b>	<b>7,512,000</b>	<b>0</b>	<b>7,512,000</b>	<b>6,619,977</b>	<b>892,023</b>	
旅費	840,000		840,000	855,981	△ 15,981	
消耗品費	1,500,000		1,500,000	1,069,901	430,099	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	1,000,000		1,000,000	449,642	550,358	
通信費	1,900,000		1,900,000	1,946,958	△ 46,958	
使用料及び賃借料	12,000		12,000	24,863	△ 12,863	
横浜市への支払分	12,000		12,000	7,633	4,367	目的外使用料
その他	0		0	17,230	△ 17,230	NHK受信料、セキュリティ対策ソフトライセンス購入
備品購入費	0		0	349,197	△ 349,197	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	110,000		110,000	53,360	56,640	
職員等研修費	0		0	36,810	△ 36,810	
振込手数料	550,000		550,000	461,630	88,370	
リース料	1,560,000		1,560,000	1,186,338	373,662	コピー機、リソグラフ、AED、携帯電話抑止装置、浄水器
手数料	40,000		40,000	185,297	△ 145,297	クリーニング代、ネットバンキング利用料等
地域協力費	0		0	0	0	
<b>事業費</b>	<b>84,466,000</b>	<b>0</b>	<b>84,466,000</b>	<b>80,946,902</b>	<b>3,519,098</b>	
自主事業費	84,466,000		84,466,000	80,946,902	3,519,098	
<b>管理費</b>	<b>67,807,000</b>	<b>0</b>	<b>67,807,000</b>	<b>67,596,354</b>	<b>210,646</b>	
光熱水費	13,000,000		13,000,000	14,247,974	△ 1,247,974	
電気料金	8,000,000		8,000,000	8,866,258	△ 866,258	
ガス料金	3,000,000		3,000,000	3,896,547	△ 896,547	
水道料金	2,000,000		2,000,000	1,485,169	514,831	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	3,000,000		3,000,000	3,069,990	△ 69,990	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	51,807,000		51,807,000	50,278,390	1,528,610	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	260,000		260,000	259,200	800	機械式駐車場点検
その他保全費	51,547,000		51,547,000	50,019,190	1,527,810	建物警備総合保守、清掃警備委託、舞台操作委託費を含む
共益費	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>6,894,000</b>	<b>0</b>	<b>6,894,000</b>	<b>6,409,847</b>	<b>484,153</b>	
事業所税	16,000		16,000	0	16,000	
消費税	6,852,000		6,852,000	6,308,500	543,500	
印紙税	26,000		26,000	85,500	△ 59,500	
その他（法人事業税）	0		0	15,847	△ 15,847	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>15,118,000</b>	<b>0</b>	<b>15,118,000</b>	<b>15,118,000</b>	<b>0</b>	
本部分	15,118,000		15,118,000	15,118,000	0	(平成28年度予算額-事務局繰入金)×7%
当該施設分	0		0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>267,524,000</b>	<b>0</b>	<b>267,524,000</b>	<b>258,941,416</b>	<b>8,582,584</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,489,492</b>	<b>2,489,492</b>	